

科目名		授業形態	担当教員名	
運動学		講義・実習	藤 信太郎・安村 明子 福林 秀幸・坂東 恵美子	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
90 時間（6 単位）		45 回	1 年次	通年
授業の目的・概要				
<p>運動学は身体構造や運動力学などを包括した学問であり、理学療法の基礎となる。理学療法が物理療法、生活指導と並んで、運動療法がその主体となるからである。その理解の為に、物理学の意味での運動学と、骨・関節の運動学が必要になる。この前期の運動学においては、力学的な分野における運動学より概説し、生体での運動学を理解するべく展開したい。後期では、上肢、下肢、体幹の3分野に分かれ、骨運動学、関節運動学などを学習する。</p>				
授業の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・身体運動の記述と解釈に必要な力学の基礎知識を理解する。 ・生体力学における運動学と運動力学の基礎を理解する。 ・各関節の構造・関節運動を理解する。 ・各関節の運動と靭帯および筋の作用との関係性を理解する。 				
授業計画				
回	内容			
1	運動学の概要・定義・歴史 【福林】	31	下肢の運動学総論、骨盤帯・股関節の構造 【藤】	
2	運動面・軸 筋力と重力 【福林】	32	股関節の運動① 【藤】	
3	生体力学の基礎(力の合成・分解) 【福林】	33	股関節の運動② 【藤】	
4	生体力学の基礎①(モーメント・てこ) 【福林】	34	骨盤帯と股関節の運動 【藤】	
5	生体力学の基礎②(モーメント・てこ) 【福林】	35	膝関節の構造① 【藤】	
6	生体力学の基礎③(運動の法則) 【福林】	36	膝関節の構造② 【藤】	
7	人体に用いた力学的分析(運動の分類 関節の運動) 【福林】	37	膝関節の運動① 【藤】	
8	前期 運動学のまとめ 【福林】	38	膝関節の運動② 【藤】	
9	体幹の運動学総論 【坂東】	39	股と膝関節の運動 【藤】	
10	脊柱の関節構造と運動 【坂東】	40	足関節の構造 【藤】	
11	頸椎と運動 【坂東】	41	足関節の運動① 【藤】	
12	胸部と運動 【坂東】	42	足関節の運動② 【藤】	
13	腰部と運動 【坂東】	43	膝と足関節の運動、歩行の基礎 【藤】	
14	姿勢とその制御 【坂東】	44	歩行の構成要素と運動学① 【藤】	
15	姿勢 実技 【坂東】	45	歩行の構成要素と運動学② 【藤】	
16	上肢総論 肩関節① 【安村】			
17	肩関節② 【安村】			
18	肩関節③ 【安村】			
19	肩関節④ 【安村】			
20	肩関節⑤ 【安村】			
21	肩関節⑥ 【安村】			
22	肘関節・前腕複合体① 【安村】			
23	肘関節・前腕複合体② 【安村】			
24	肘関節・前腕複合体③ 【安村】			
25	肘関節・前腕複合体④ 【安村】			
26	手関節 手部① 【安村】			
27	手関節 手部② 【安村】			
28	手関節 手部③ 【安村】			
29	手関節 手部④ 【安村】			
30	手関節 手部⑤ 【安村】			

科目名
運動学

成績の評価法と基準		
種別	割合	評価基準・その他備考
定期試験	100%	→<総論（前期）, 体幹の運動学（後期）><上肢の運動学（後期）><下肢の運動学（後期）>の全3分野それぞれで試験を実施し各分野の合計点を100点換算し、60点以上の場合、合格とする。
レポート		
小テスト		
平常点		
その他		
自由記載	前期の範囲は前期末に試験を行い、再試験は全分野後期に実施する。開講時により詳細に説明する。	
教科書		
書名	著者・編集者名	出版社名
基礎運動学 第6版補訂	中村 隆一 他	医歯薬出版株式会社
筋骨格系のキネシオロジー 原著第3版	Donald A. neumann 他	医歯薬出版株式会社
プロメテウス解剖学アトラス 解剖学総論/運動器系 第3版	坂井 建雄・松村 譲児 監訳	医学書院
自由記載		
参考文献		
書名	著者・編集者名	出版社名
身体運動の理解につなげる物理学	江原 義弘 他	南光堂
PT・OTのための運動学テキスト 基礎・実習・臨床	小柳 磨毅 他	金原出版株式会社
15レクチャーシリーズ 理学療法・作業療法テキスト 運動学	石川 朗 他	中山書店
自由記載		
備考		